

リ(中略)サテ山城ノ郡名ノ葛野ノ葛ハ古事記ノ御歌ニ加豆怒トアリテ、カヅラノラチ省ケルナレバ、字音ニアラズ、此ト混ズベカラズ、○中略  
入聲キノ韻ヲ同行ノ音ニ通用シタル例

かとしか 葛飾郡下總郡 加止志加 飾吳音シキヲシカニ用ヒタリ

〔下總國舊事考七郡〕葛飾郡和名抄加止志加訓

和名抄訓加止志加トアレド、萬葉集四十二可豆思加、又加豆思賀トアリテ、今モ土人カヅシカト呼

ニ據バ、是正訓ナルベシ、按略解ニカヅノツハ濁音ニテ、カヅシカト訓ベシト云、土人ノ音モカ

ヨリノ名ナルベシ、回國雜記ニカクテ郡ノ山ヲ出テ行ク道ニ葛ノイト繁ク侍リケルヲ見テ、云

トモ見ユ且郡中ニ葛生村アルニテモ、思ヤラル也、伴信友云、高橋氏文ニ、景行天皇五十三

事ヲ載テ、十月到上總國安房浮島宮、天皇葛飾野毛毛ハ爾ノ誤ナルベシ獵シ玉フ、本朝月令ニ、此

原野也、和名抄ノ頃ニ至テモ、郡中想像スベシ、本郡ハ抄ニモ國府在葛飾郡ト見エテ、一國ノ上游ニ

レバ、其廣漠ノ原野ナリシ也、今地勢ヲ考レバ、國府ハ葛東葛西ノ稱アリ、葛東ハ下總ニ屬シ、葛西ハ

今武藏ニ屬セリ、

〔萬葉集二十〕天平勝寶七歲乙未二月、相替遣筑紫諸國防人等歌、  
由古作枳爾奈美奈等惠良比志流敵爾波古乎等都麻乎等於枳氏等母枳奴

右一首、葛飾郡和部石島、

〔萬葉集抄五〕かつしかとは、下總國葛飾郡也、彼郡の中に大河あり、ふとゐと云、其川の東をば葛東

の郡といひ、西をば葛西の郡といふ、

〔吾妻鏡十七〕正治三年建仁元年八月十一日戊子、甚兩午刻大風、鄉里穿屋、江浦覆船、○中下總國葛西

郡海邊潮牽人屋、千餘人漂没云云、

〔下總國舊事考七郡〕千葉郡和名抄訓千葉

名義ハ古事記明上卷ニ、時天皇越幸近淡海國之時、御立宇遲野上、望葛野歌曰、知婆能加豆奴袁美

千葉郡